

箱山第1号古墳発掘調査工程計画書

箱山第1号古墳の発掘作業については、次のとおりとする。

	発掘作業工程	発掘成果品とその仕様
(1)	<p>調査前の記録</p> <p>古墳調査前の状況について、周辺地形測量図及び現状の写真等、必要な記録作業を行う。調査前には、基準となる測量杭の打設を行う。</p> <p>墳丘の調査</p> <p>墳丘（頂部～裾部）を人力により精査して、墳丘の形状及び規模を確認し、地形測量図の作成及び写真等、必要な記録作業を行う。また、墳丘に外護列石等が確認された場合は、人力により検出を行い、必要な記録作業を行う。図面は、平面・立面図、必要に応じて断面図も作成する。</p> <p>背面カットについても人力により精査して、土層断面図の作成及び写真等、必要な記録作業を行う。</p>	<p>基準点・水準点測量成果</p> <p>調査前現況写真</p> <p>調査前周辺地形測量図（平面）</p> <ul style="list-style-type: none"> 縮尺 1/100 程度 <p>墳丘検出状況写真</p> <ul style="list-style-type: none"> 考古学的重要度に応じた記録方法を取る。 <p>墳丘地形測量図（平面）</p> <ul style="list-style-type: none"> 縮尺 1/100 程度 <p>墳丘列石等実測図（平面・立面）</p> <ul style="list-style-type: none"> 縮尺 1/20 程度 <p>土層実測図（断面）</p> <ul style="list-style-type: none"> 縮尺 1/10～1/20
(2)	<p>前庭部の調査</p> <p>墳丘裾部を人力により精査し、前庭部の位置を確認する。前庭部の重複や遺跡の評価に関わる意味が認められる場合は、土層断面及び遺物の検出状況等の記録作業を行う。</p> <p>羨道部の調査</p> <p>前庭部と墳丘を人力により精査し、羨道部を確認する。遺跡に関わる意味が認められる場合は、土層断面及び遺物の検出状況等の記録作業を行う。</p> <p>羨道部の掘削は、小型の道具を用いて注意深く掘り下げる。掻き出し行為等により遺物が原位置から遊離していると認められる場合においては、攪乱土中の微細な遺物を回収するために埋土をフルイにかける等、必要な調査を行う。</p> <p>また、閉塞石を検出して必要な記録作業を行う。特に、追葬に伴う構造の変化には注意する。</p>	<p>土層・遺物出土状況写真</p> <ul style="list-style-type: none"> 考古学的重要度に応じた記録方法を取る。 <p>土層実測図（断面）</p> <ul style="list-style-type: none"> 縮尺 1/10～1/20 色調等土層の注記は客観的な基準に基づいて行う。 堆積状況に関する調査所見も記入する。 <p>遺物出土状況実測図（平面）</p> <ul style="list-style-type: none"> 縮尺 1/5～1/20 <p>閉塞石検出状況写真</p> <ul style="list-style-type: none"> 考古学的重要度に応じた記録方法を取る。 <p>閉塞石実測図（平面・立面）</p> <ul style="list-style-type: none"> 縮尺 1/10～1/20

<p>(3)</p>	<p>古墳主体部の調査</p> <p>羨道部掘方の平面形を確認した後に、土層観察用のベルトを残して人力により掘削する。天井石が架構されている部分は、羨道側より掘削する。</p> <p>埋葬施設の形態及びその構造を確認する。埋葬施設の内部を人力により精査して、その構造（横穴式石室かどうか）を確認する。天井石が残っている場合は、掘削により崩落しないよう、安全に配慮して慎重に行う必要がある。</p>	<p>土層・遺物出土状況等写真</p> <ul style="list-style-type: none"> 考古学的重要度に応じた記録方法を取る。 <p>土層実測図（断面）</p> <ul style="list-style-type: none"> 縮尺 1/10～1/20 色調等土層の注記は客観的な基準に基づいて行う。 堆積状況に関する調査所見も記入する。
<p>(4)</p>	<p>古墳主体部（床面）の調査</p> <p>棺床部においては、棺構造など埋葬施設に関する有意義な情報を得るため小型の道具を用いて十分な精査に努める。床面付近には、木棺の痕跡などが残っている場合があるため、土層の変化には細心の注意を払い、適宜必要な記録作業を行う。木棺の痕跡や人骨などの有機物、赤色顔料が検出された場合や、土壌内より有意義な情報が得られる場合は、必要に応じてサンプルを採取する。また、玉類など小型の遺物や鏡・鉄器類等の脆弱な遺物が存在する可能性があるため、遺物を傷つけないよう竹ベラなどで細心の注意をもって掘り下げを行う。なお、床面の副葬品は、小型の遺物が密集している場合もあるため、適切な縮尺により図化する。さらに、床面に礫床・棺台石・枕などの構造物がある場合には、構造・機能・特徴が十分に表現可能な手法で記録作業を行う。</p>	<p>遺物出土状況写真</p> <ul style="list-style-type: none"> 考古学的重要度に応じた記録方法を取る。 <p>遺物出土状況実測図</p> <ul style="list-style-type: none"> 縮尺 1/5～1/20 平面・断面図（必要に応じて立面図を作成する。） <p>床面検出写真</p> <ul style="list-style-type: none"> 考古学的重要度に応じた記録方法を取る。 <p>床面検出実測図</p> <ul style="list-style-type: none"> 縮尺 1/10～1/20 平面・断面図（必要に応じて立面図を作成する。）
<p>(5)</p>	<p>埋葬施設（石室）の調査</p> <p>埋葬施設の完掘時に図化を行う。完掘時の記録は、古墳の全体状況に関する総括的なものであることから、必要な情報が十分表現できる方法によって記録を作成する必要がある。</p> <p>実測については、石室の場合、天井石平面図・玄室奥壁及び側壁立面図・玄門部及び羨道部立面図・床面</p>	<p>埋葬施設写真</p> <ul style="list-style-type: none"> 考古学的重要度に応じた記録方法を取る。 <p>埋葬施設実測図</p> <ul style="list-style-type: none"> 縮尺 1/10～1/20 平面・立面図、断面図は主軸方向・玄室最大幅部・羨

	<p>平面図・その他断面図等を、遺構の性格・特徴を表現するため状況・重要度に応じて作成する。</p>	<p>道中央部を標準とするが、必要に応じて追加する。</p>
(6)	<p>古墳並びに古墳群全体の写真撮影（空中写真）</p> <p>古墳並びに古墳群全体の記録は、古墳の全体状況に関する総括的なものとなり、古墳の形状・特徴が十分に表現できるよう、古墳群全体を俯瞰するかたちで撮影する必要がある。</p> <p>各古墳の位置関係や立地の特徴を表現できるよう、空中からの写真撮影が望ましい。なお、その場合も複数のアングルから撮影すること。</p>	<p>古墳・古墳群全体写真</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 報告書では通常大判写真で掲載することから、アナログ・デジタル写真ともに遺跡の情報を最大限に表現できる写真を撮影すること。写真の仕様については、別記する。
(7)	<p>墳丘の断ち割り確認・調査</p> <p>墳丘の築造方法・埋葬施設との前後関係等に関する必要な情報を得るために、墳丘を断ち割りして解体調査を行う。トレンチ調査により築造工程を大略把握した後、盛土構築単位で層位的に掘削し、必要な記録作業を行う。</p> <p>墳丘の掘り下げは、人力による比較的大型の掘削用具を用いて行うが、築造中のある段階に意図的に遺物が埋納されている場合があるので、適宜必要な記録作業を行う。</p>	<p>墳丘土層写真</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 考古学的重要度に応じた記録方法を取る。 <p>墳丘土層実測図（断面）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 縮尺 1/20 程度 <p>遺物出土状況写真</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 考古学的重要度に応じた記録方法を取る。 <p>遺物出土状況実測図（平・立面）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 縮尺 1/10～1/100
(8)	<p>埋葬施設基底部の調査（石室解体）</p> <p>石室裏込め部の調査及び奥・側壁の解体調査等を実施する。基本的には、トレンチ調査後に裏込め土（石材）単位で層位的に掘り下げる。工程中に意図的に遺物が埋置されている場合があり、その都度必要な記録作業を行う。また、解体の過程においても、石材の裏込めや土層断面図の補測等、適宜記録作業を行う。</p> <p>解体後は、埋葬施設の基底部（掘方）を検出し、必要な記録作業を行う。</p>	<p>石室基底部写真</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 考古学的重要度に応じた記録方法を取る。 <p>墳丘土層実測図（断面）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 縮尺 1/20 程度 <p>石室基底石実測図（平面）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 縮尺 1/10～1/20 <p>基底部実測図（平面・立面）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 縮尺 1/20 程度